

何度でも迷っていい。 自分が変わればステージも変わるから。 ただし新たに決断するたびに、 自分と本気で向き合おう。

社会の中に保健室を作ろう というコンセプトで参加メンバー1万人を超える「働く女の会」を主宰する君島圭さん。その原動力と仕事への想いについて伺いました。

「働く女の会」を作ろうと思われたきっかけはなんですか？

「格差」「勝ち組・負け組」という言葉で、各々の人生のプロセスにいる女性たちがくくられてしまつことに強い違和感を抱いていました。」「いたい、誰と比べての、勝ち負け」なんだろうかと。

メディアに取り上げられるような派手なキャリアの持ち主だけが全員一致の理想ではないはず。むしろ「自分の今」を「ソコソコ」と頑張っている大多数の女性たちの居場所が、実はどこにもなかった。その女性たちこそ味方が必要だ

と思っただけです。働き方に優劣をつけてお互いをライバル視したり心を閉じてしまつては、あらゆる境界を取り払って仲間になれたら、と考えました。味方になれるのは同じように頑張っている「女」たちに他ならない。

私自身はいわゆる「キャリア」とは縁遠い仕事ばかりしてきたので偉そうなお話ばかりで、あんなに偉そうでも私自身が長いこと迷い、各職場で出会った多くの女性の悩みや心の痛みを聞き続けてきたことが、今の「働く女の会」につながっていると思っ

た。「この言葉がとてまにに入りました。」「合う」仕事を求めている自分があるから合わないことが分かるんです。さっきの穴の話で言えば、一つだけハマればいいので、別の穴まで手を出すことはないんです。そうすれば選択肢はほとんどの数に絞られてくるんじゃないでしょうか。

「それが働き方に優劣はない」というキャッチフレーズになるんですね。垣根を取り払ってしまえば、状況や背景が違っただけで個々人が抱えている悩みは似ていることが多いような気がします。それをシェアできれば、人生の先輩は先輩にアドバースができるし、後輩は先輩から状況に応じた答えをもらえる。こんな素敵な関係はないでしょうか？

「保健室」とはどういう意味ですか？

病院に行くほどではないけれど、ちょっとした横になりたい。そんなときに「こい」メッセージです。

派手な成果でなくても、地道に毎日真面目に働いてきた自分に自信を持つことです。

社会がどんなに冷たくても、私たち仲間はあるを絶対に受け止める。みんなが同じ思いを抱えて「こい」待っている。そんな安心できる泣き言でもなんでも言える場所でありたいと思っ

「君島さんこそ自身が保健室のような存在にならなければ」

私はすべての女性をリストアップするつもりで働く女の会を続けています。だって、みんな本当にすごく頑張っているし、真面目ですよ。いろんな職種の方がいますが、それぞれの真剣さに優劣なんて絶対つけられない！

「それでは仕事とはなんだとお考えですか？」

以前編集の仕事をしていたとき、『ハカの壁』の著者である養老先生に取材させていただいたことがあります。先生が、仕事とは社会に開いた穴を埋めること、「こい」話をされていま

した。「この言葉がとてまにに入りました。」「合う」仕事を求めている自分があるから合わないことが分かるんです。さっきの穴の話で言えば、一つだけハマればいいので、別の穴まで手を出すことはないんです。そうすれば選択肢はほとんどの数に絞られてくるんじゃないでしょうか。

それはそのまま「存在意義」ともいえますよね。

「もう一つのキャッチフレーズ、働くことは生きる」といっていいですか？

そうですね。仕事とは社会の穴埋めすなわち関わり方であり、生き方も言えるんじゃないでしょうか。

「年齢がネックになって仕事が見つからない方と感じている方も多いよう

です。」「年齢がネックになって仕事が見つからない方と感じている方も多いよう」

年を重ねるにつれて私はすごく素敵なことだと思っています。どんな小さなことでも、経験は力であるはず。私は早く年をとりたい、先輩たちと対等に話したいと思っ

大切なのは素直になることだと思っ

「やりのこがみつからない」とい

「やりのこがみつからない」とい

私は徹底的に迷うべきだと思っ

「こい」が合わないと思っ

「働く女の会」です。皆同じように孤独感を感じていると思っ

「働く女の会」です。皆同じように孤独感を感じていると思っ

働く女の会

「働き方に優劣はありません。働くことは生きることです」をキャッチフレーズに

「社会の中に保健室を作ろう」というコンセプトのもと、君島圭が企画・運営。生きること、暮らすこと、女であることを最大の共通点として、女同士が仲間であり、心の拠りどころとなることを目指す。Web・オフ会・サロン、またブログや機関誌等、言葉による配信でその「場」を醸成、提供。生活者としての独自の視点で働く女たちのためのセミナーを開催。実際に女性たちが立ち寄れるサロンの店舗展開も継続中。



Profile

君島圭

働く女の会 主宰。
大学でカウンセリングを学んだ後、化粧品卸会社の人事総務部に勤務。その後正社員やアルバイト、派遣・請負・委託など様々な働き方を体験。現在は働く女の会のサロンやセミナー企画・運営。またHP制作や「生きる」をテーマにしたエッセイの執筆などを手がける。
http://www.keikimishima.com

就職・キャリア形成支援の無料相談実施中!!

監修 キャリアウイング 吉田 但

厚生労働省指定 キャリア・コンサルタント能力評価検定合格キャリアカウンセラー 人材ビジネスのフルキャストの人事・人材開発等の各事業部責任者を経て同社設立。キャリア支援を望む、クライアントへのキャリアカウンセリングをはじめ、キャリアカウンセラー志望者への支援活動も実施している民間独立系の会社。

HP <http://www.career-wing.jp>

メルマガ <http://blog.mag2.com/m/log/0000197621/> 「個の時代」のキャリアカウンセラー&人事

所在地: 神奈川県横浜市神奈川区沢渡45-1ルピナス横浜西口401 ☎045-314-2200
キャリアカウンセリング・トレーニング等実施中は留守番電話になります。

mail >> contact@career-wing.jp お問い合わせは、お気軽に「サリダを見て!」とメールをお願いします。